

この国の、 酪農のために。

1976年3月10日、

たった3人の研究員からの出発。

「この国の酪農に貢献したい」

その熱き想いを胸に秘めこの50年間、この国の酪農と共に
幾多の風雪にも耐え、ひたむきにあゆみ続けてきました。

もちろん、平坦な道ばかりではなかった。

さまざまな試練に出会い、存続の危機さえ味わいました。

しかし、そのたび私たちを支えたのは、

創立以来、私たちの胸にあり続けた酪農への熱き想い、
そして私たちの研究を支えてくださった多くの酪農家の皆様でした。

「健土健民」

健やかな土から育まれる、

健やかな農作物が、健やかな国民を育む。

この言葉は私たちのタカラであり、酪総研のアイデンティティです。

酪農情勢が厳しいこの時代に、ひたむきに前を向き、

立ち向かい続ける酪農家がこの国にいる限り、

私たちの「酪農による「健土健民」の理想の実現」は、

決してあゆみを止めることはありません。

私たちは今日も現場にいる、

酪農家と共に歩み続ける。

「酪農の未来のための一歩」を私たちは歩んでいく、

この国の酪農家とともに。

私たち、酪農総合研究所です。

